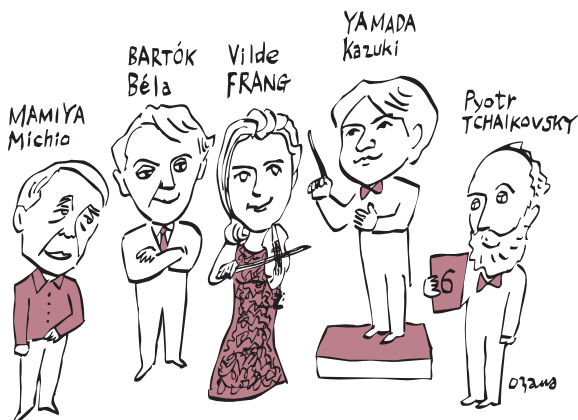


Tokyo

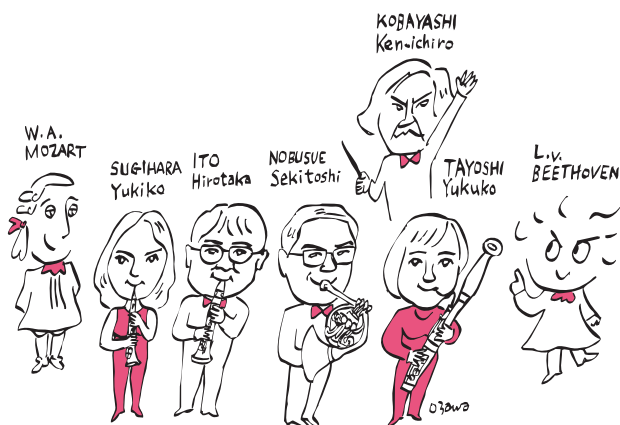
東京定期演奏会
784th



JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

SUBSCRIPTION CONCERTS

2026.10



Yokohama

横浜定期演奏会
421st

演奏中のマナーにご協力をお願いいたします

電源OFF



アラームOFF 電源OFF

演奏中は携帯電話や時計のアラームなどデジタル機器の電源はお切りください。

音にご注意を



ビニール袋

靴にしまう、またはいすの下へ置くなど物音がたたないようにご注意ください。



飴の袋

客席内の飲食はご遠慮いただいております。お咳の予防等ご利用の際は、演奏前にお口の中にいれるか、あらかじめ袋から出しておく等のご準備をお願いいたします。



マジックテープやファスナーの音

開け閉めの音は意外に響きます。演奏前にご確認ください。



鈴などアクセサリがついたストラップ

靴にしまうなど鳴らないようにご注意ください。



補聴器の音

ハウリングをおこさないよう、しっかりと装着し、適切な音量に調整をお願いいたします。

声と拍手にご注意を



私 語



せ き

演奏中の私語はご遠慮ください。咳をする時はハンカチなどで口を覆って響かないようご配慮を。また、拍手やブラボーは指揮棒がおりてから。最後の余韻までお楽しみください。

撮影禁止



録音禁止



録画禁止

写真撮影禁止

演奏中の録音・録画・写真撮影は、固くお断りしております。
※演奏終了後に写真撮影可能な公演がございます。
詳細は公演時にご案内いたします。

周囲にご配慮を



身を乗り出さない



つばの広い／高さのある帽子

席から身を乗り出したり、着用している帽子が後ろの席の視界を遮っていることもございます。周囲にご配慮を。



終演時のカーテンコールで写真撮影が可能です。

撮影はスマートフォン・携帯電話のみ、自席にご着席のまま行い、動画の撮影はご遠慮ください。

撮影に関しては以下のルールを守ってくださいますようお願い申し上げます

- ・アンコール演奏中の撮影はご遠慮ください
- ・スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影はご遠慮ください
- ・フラッシュの使用は控えください
- ・動画の撮影は控えください
- ・撮影の際、手を高く上げるなど周りのお客様のご迷惑になる行為にご注意ください
- ・自席にご着席のまま撮影をお願いいたします
- ・SNS等に掲載する際は、ほかのお客様のうつりこみにご注意ください
- ・自撮り棒などの使用は控えください
- ・演奏中はスマートフォン、携帯電話の電源をお切りください(録音・録画は違法行為です)

SNSに投稿いただく際は、ハッシュタグ #日本フィル #japanphil をつけてください！

CONTENTS

目 次

東京定期演奏会プログラム	4
メンバーズ TVU チャンネル 配信一覧	11
次回東京定期演奏会 指揮者にインタビュー 小林 研一郎編	12
横浜定期演奏会プログラム	14
歴史でひもとく!〜クラシックこぼれ話 by小宮 正安	20
次回横浜定期演奏会	21
写真プレイバック- 2026年7月〜8月 -	22
あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ	23
今後の日本フィル出演公演	24
感動の共有 〜ご支援のお願い〜	33
日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名	34
日本フィルハーモニー交響楽団 パトロネージュご芳名	38
日本フィルハーモニー協会 維持会員ご芳名	40
第九特別演奏会2026	41
インフォメーション	42
オーケストラ・プロフィール	43
楽団紹介	44

ご来場お客様アンケートのお願い

公演ごとに抽選で
招待券をプレゼント

本日は、演奏会へご来場いただき、誠にありがとうございます。
3分程度のアンケートを、二次元コードを読み取っていただき、
演奏会から5日以内にご回答をお願いします。



第784回東京定期演奏会

784th Tokyo Subscription Concerts

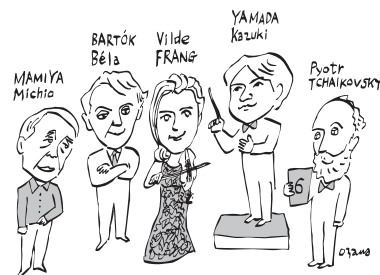
2026年 10月16日(金) 19:00 開演

10月17日(土) 14:00 開演

サントリーホール

7:00p.m., Friday, 16th & 2:00p.m., Saturday,
17th October, 2026, at Suntory Hallプレトーク「本日の聴きどころ」 金曜日/18:30~
土曜日/13:20~東京定期演奏会では、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや
楽曲解説、アーティストの素顔を紹介いたします。

今月は指揮者の山田和樹さんです。



間宮芳生 二重合奏協奏曲 (約20分) *日本フィル・シリーズ第16作

MAMIYA Michio

Doppio concerto grosso
I Allegro non troppo -Andante
II Lento
III Precipitato

バルトーク ヴァイオリン協奏曲第2番 BB117 (約40分)

BARTÓK Béla

Concerto for Violin and Orchestra No.2 BB117
I Allegro non troppo
II Andante tranquillo
III Allegro molto

休憩(15分) Intermission

チャイコフスキー 交響曲第6番《悲愴》 口短調 op.74 (約46分)

Pyotr TCHAIKOVSKY

Symphony No.6 "Pathétique" in B-minor, op.74
I Adagio - Allegro non troppo
II Allegro con grazia
III Allegro molto vivace
IV Finale: Adagio lamentoso

指揮 山田 和樹

Conductor

YAMADA Kazuki

ヴァイオリン ヴィルデ・フラング

Violin

Vilde FRANG

コンサートマスター 扇谷 泰朋

Concertmaster

[日本フィル・ソロ・コンサートマスター]
OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster10月16日(金)公演は
間宮、チャイコフスキーの2曲
ライブ&アーカイブ配信あり!Member's TVU CHANNEL
にて配信
<https://members.tvu.com>

詳細はP11へ

◀指揮者インタビューは
こちらから
(9月東京定期プログラム掲載)*この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。
ご要望の方は主催者までお申し出ください。

主 催 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 助 成 /

協 賛 / 株式会社ウテナ 鹿島建設株式会社

TANAKEN株式会社 ホッカン株式会社

三井不動産株式会社 UBE株式会社

表紙イラスト / 小澤 一雄

文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

Conductor

指揮

山田 和樹

YAMADA Kazuki



©Zuzanna Special

2009年第51回ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。ほどなくBBC交響楽団を指揮してヨーロッパ・デビューし、同年、ミシェル・プラッソンの代役でパリ管弦楽団を指揮。2012/2013シーズンから6年間、スイス・ロマンダ管弦楽団首席客演指揮者、2016/2017シーズンから10年間、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督兼音楽監督を歴任。2023年4月からバーミンガム市交響楽団首席指揮者兼アーティスティックアドバイザーを務め、その後、2024年5月には同団音楽監督に就任。また、2026/2027シーズンよりベルリン・ドイツ交響楽団首席指揮者兼芸術監督を務める。

日本国内では、2012年~2022年までの10年間日本フィルの正指揮者を務めたほか、学生時代に創設した横浜シンフォニエッタの音楽監督、東京混声合唱団音楽監督兼理事長としても活動を展開。2026年4月には東京芸術劇場 音楽部門芸術監督に就任した。

世界の主要オーケストラに招かれており、近年は、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン交響楽団、ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団、ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団、ニューヨーク・フィルハーモニックなどでデビューを果たしている。

小澤征爾スイス国際アカデミーに講師として毎年招かれ指導にあたるなど教育活動にも熱心で、バーミンガム市交響楽団のアウトリーチ・プログラムにも力を入れているほか、日本では、公益財団法人ローム ミュージック ファンデーションとともに「RMF & 山田和樹 グローバルプロジェクト」を立ち上げ、日本の音楽家の育成にも取り組んでいる。

受賞歴も多く、第21回出光音楽賞、第20回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第11回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第56回サントリー音楽賞、第76回芸術選奨文部科学大臣賞など多数。

2022年にはモナコ公国からシュバリエ文化功労勲章を受章。

また、2026年3月にはドイツ・グラモフォンからのデビュー・アルバムとなったバーミンガム市交響楽団との『ウォルトン:交響曲第1番・第2番 他』をリリースした。

東京藝術大学指揮科で松尾葉子・小林研一郎の両氏に師事。はだのふるさと大使。ベルリン在住。



©Marco Borggreve

Violin
ヴァイオリン

ヴィルデ・フランク
Vilde FRANG

ノルウェー生まれ。12歳のとき、マリス・ヤンソンスに抜擢され、オスロ・フィルハーモニー管弦楽団との共演でデビュー。オスロのパラット＝ドゥーエ音楽院、ハンプルク音楽演劇大学でコーリャ・ブラッハー、クロンベルク・アカデミーでアナ・チュマチェンコに学ぶ。2012年、満場一致でクレディ・スイス・ヤング・アーティスト賞を受賞し、ルツェルン音楽祭でベルナルト・ハイティンク指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団と共演した。

深い音楽性と卓越した抒情性で、同世代を代表するヴァイオリニストの一人として国際的に高い評価を得ている。これまでベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、バイエルン放送響、ロンドン響、ヨーロッパ室内管、チューリヒ・トーンハレ管、ブダペスト祝祭管、ニューヨーク・フィル、クリーヴランド管など世界の主要オーケストラと共演。キリル・ペトレンコ、サイモン・ラトル、ハイティンク、プロムシュテット、サロネン、ヤンソンス、イヴァン・フィッシャー、フルシャ、コロフスキ、ホーネック、クルレンツィス、ハーディング、パッパーノ、パーヴォ・ヤルヴィ、ドゥダメルら著名指揮者との共演を重ねている。BBCプロムス、ザルツブルク、ルツェルン、ヴェルビエなど主要音楽祭にもたびたび出演。室内楽にも積極的に取り組み、カーネギー・ホール、コンセルトヘボウ、ウィーン楽友協会、ベルリン・フィルハーモニー、チューリヒ・トーンハレなど世界各地でリサイタルを行っている。

ワーナー・クラシックス専属アーティストとして数々の録音をリリース、エジソン・クラシック賞、ディアパゾン・ドール、ドイツ・レコード批評家賞、BBCミュージック・マガジン賞、グラモフォン賞など多数受賞。教育にも情熱を注ぎ、オスロのパラット＝ドゥーエ音楽院、ニューヨークのジュリアード音楽院、英国王立音楽院などで後進を指導している。

使用楽器は、ヨーロッパの篤志家より貸与された1734年製グァルネリ・デル・ジェズ。

間宮 芳生 二重合奏協奏曲について&作曲者のノートより

第122回東京定期演奏会(1966年6月14日/初演)プログラムより転載

■ 二重合奏協奏曲について

☆名の示すように、2つのソロ群と3管編成(打楽器なし)のオーケストラのための協奏曲である。

☆2つのソロ群とは、第1グループ——ピアノと、5人の打楽器奏者。第2グループ——2人のヴァイオリン、2人のヴィオラ、2人のチェロ及び1人のコントラバスである。

☆3つの楽章からなるが、第1楽章 Allegro non troppo-Andante と第2楽章 Lento は、切れ目なく演奏される。第3楽章は Precipitato

☆ソロ群は第1楽章では、かなりひかえ目に、そして、2・3と楽章を追うごとに、きわ立った役割りがあたえられている。オーケストラは、通常の協奏曲よりもかなり重要な役割を占め、ソロ群は、オーケストラと時には対立し、時にはかなり一体化する傾向を持つ。この一体化の傾向は、第2ソログループにことに強い。

■ 作曲者のノートより

実際のプレイが、作者のイメージしたプレイをいかにうら切り、越えてくれるだろうか——という、そのことの可能性への期待が、いつもぼくを創作へとかり立てるのだ。

創作のイメージとは、プレイをイメージすること。たとえ音を通じて——又は音によって——であっても、発想されなければならないのは、プレイの時間であるはず。つまりプレイぬきの発想であっては断じてならないはず。

作曲の仕事とは、イメージされたプレイを確実に音楽家の再現行為を保証する客体化された音のことばに(音符)定着させること。演奏とは、そうして音のことばとして、楽譜のかたちに着されたものから、その都度真新しいプレイの時間をうみ出すこと。

ところで、オーケストラは、人間の集団であり、——つまり音楽家の集団(合奏体)であり、オーケストラの演奏とは、音楽家達のプレイのぶつかりあう、行為の時間であるはず。

しかし一方で、オーケストラを一個の音響媒体——あたかも一個の高度な性能をそなえた楽器(時には発音体)であるかのような観念が……つまり、オーケストラで音楽を発想するということは、オーケストラの響きのさまざまな可能性を発想することであるというような観念が音楽家をとらえているように思える。それは、今日、作曲家達を誘惑している音響病のことだけではない。ベートーヴェン、あるいは、バルリオーズあたりからほぼ決定的となった、それはオーケストラという媒体のイメージではなかったか。そして、それは、オーケストラのアンサンブル術や、指揮術の基本のところにも居すわるようになって来たかなり根強い観念となっているようだ。

オーケストラという音楽家の集団——合奏体のための、プレイの時間をイメージし、それを、確実にプレイを保証するスコアに定着する——それがオーケストラ作品を書くことでなければならないはず。

☆これは、昨年、「オーケストラのための2つのタブロー'65」を書き上げた頃から、オーケストラ作品の作曲ということ。ことに、その作曲の仕事と、オーケストラの一人一人のプレーヤーの演奏との関係について、どうしても考えないわけにゆかなくて、この二重合奏曲の作曲にとりかかりながら、ときどきに、ノートに書きつけたものの断片です、

間宮芳生：二重合奏協奏曲

アジア・太平洋戦争中、日本の作曲界は活況を呈していた。大政翼賛政策に応じ、オーケストラや放送局が邦人作品を盛んに取り上げたのだ。たとえば、1940年から45年までの6年間、日本人作曲家による管弦楽曲の初演数は400件ほど。対して敗戦後の46年から51年までの6年間に、それはおよそ160件を数えるに過ぎない。

それだけに、戦後に吹く“北風”は作曲家たちの身にしみた。そこで彼らは耐乏のため同業者組合を始める。創作の場を整備し発表の場を確保するための互助組織だ。「新声会」「新作曲派協会」「地人会」などがよく知られる。

その中で独特の地位を保ったのが「山羊の会」である。林光、外山雄三、間宮芳生(1929-2024)が53年に結成した。「音楽のあらゆる分野にわたって、日本の国民音楽に資する」との標語を掲げた3人は、バルトークをロールモデルに据える。その身上は、音楽だけでなく生活スタイルの面でも、伝統と革新とを融合させることにあった。

「山羊の会」の活動開始に遅れること5年、日本フィルハーモニー交響楽団が邦人作曲家への新作委嘱事業「日本フィル・シリーズ」をスタートさせる。これは作曲家に「経済的保証を与える」ことを明確に目的としていた。その意味でこのシリーズは、戦後の“北風”に対して“太陽”の役割を果たすことになる。

1960年代に入るとこの企画は、前衛一色になりかけていた作曲界に対する警鐘の意味を持ちはじめ、その路線で人選が進みだす。その一環として第16作を託されたのが間宮だ。66年、作曲家は《二重合奏協奏曲》をこのシリーズに寄せた(なお59年に第2作としてヴァイオリン協奏曲も提供している)。

警鐘の意味するところと「山羊の会」の身上とは、地に足のついた音楽を世に敷かんとする点で共鳴する。それは作品の様式にもあらわれる。「合奏協奏曲」とは17世紀以来のアンサンブルのスタイルで、独奏群と総奏群とに分かれて対比的に音楽を進めるもの。「二重」とはその独奏群が二組あることを示す。こうした二群の呼応も16世紀以来の伝統を有する。つまり器は古い。そこに新しい音楽を盛り込む。「山羊の会」の目指した「伝統と革新の融合」がそこにはある。

【第1楽章】 踏切の警報音のような和音が響く。独奏を経て鋸歯状の音型が登場。モールス信号を思わせる短短短長のリズムから警報音に戻り、いったん音楽は静まる。上記の要素を、手を替え品を替え全曲で繰り返す。

【第2楽章】 静かな出だし。弦楽が呻き声をあげ始める。いつときの静寂のあと管楽がなにやら“相談”しだす。やがて静かに楽章を閉じる。

【第3楽章】 冒頭楽章の各特徴を、変化させつつ無窮動に再現する。ノコギリ音型、モールス

信号、遠くに聞こえる警報音、途切れ途切れの呻き声……。消えゆくように思えた音楽はさいごに雄叫びを上げる。

作曲：1966年

初演：1966年6月14日、東京

楽器編成：ピッコロ1、フルート2、オーボエ3(イングリッシュ・ホルン持替1)、クラリネット3(バス・クラリネット持替1)、ファゴット3(コントラ・ファゴット持替1)、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、大太鼓、シンバル、ボンゴ、銅鑼、ヴィブラフォン、ムチ、トムトム、コンガ、グロックンシュピール、ハープ、ピアノ、弦楽5部

バルトーク：ヴァイオリン協奏曲第2番 BB117

オーストリア＝ハンガリー二重帝国に生まれたベラ・バルトーク(1881-1945)は、創作上もつねにその「二重性」と向き合い続けなければならなかった。1899年の音楽学校進学の際も、ウィーンとブダペスト、どちらの王都に向かうか迷ったという。

ブダペスト音楽院在学中には、ドイツ系音楽の影響をもろに受けながら、生活や考え方は祖国ハンガリーを強く意識したものへと変化させる。独立運動に参加し、民族衣装を着用して、家庭ではハンガリー語を話した。

こうした「二重性」の軛からバルトークを救い出す役目を果たしたのが、民俗音楽の研究だ。作曲家ゾルターン・コダーイとの共同研究は1906年、『ハンガリー民謡集』として実を結ぶ。ブダペスト音楽院教授、次いで科学アカデミー研究員の職を得てからは、民俗音楽の研究と、それを西欧作曲書法の中に溶かし込む作業とに、いっそう腰を落着けて取り組むことが可能になった。

1938年に完成させたヴァイオリン協奏曲第2番も、バルトークが「二重性」に向き合った末に導き出した答えのひとつだ。ドイツで培われたソナタ形式や変奏曲といった旧来の書法と、ハンガリーの民俗音楽、さらには同時代の前衛音楽までもその懐に取り込み、作品内で止揚する。

【第1楽章】 独奏ヴァイオリンの奏でる第1主題は、ハンガリーの募兵曲「ヴェルブンコシュ」を思わせる五音音階。主題の中程には順次進行で上下行する滑らかな楽句が現れ、五音音階と対照をなす。続く第2主題には12音すべてが顔を出す。やがてそれは、四分音(半音の半分)にまで細分化される。

【第2楽章】 民謡風の主題のあと7つの変奏が続く。楽章冒頭に提示された主題に戻る。

【第3楽章】 登場するテーマにはいずれも、第1楽章の各主題がこだます。活気から野生味、優美さから素朴さへと楽想を変化させながら、最後は独奏ヴァイオリンの妙技を生かし、華麗に終える。

作曲：1937年～38年

初演：1939年3月23日、アムステルダム

楽器編成：独奏ヴァイオリン、フルート2(ピッコロ持替1)、オーボエ2(イングリッシュ・ホルン持替1)、クラリネット2(バス・クラリネット持替1)、ファゴット2(コントラ・ファゴット持替1)、ホルン4、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバル、トライアングル、銅鑼、ハープ、チェレスタ、弦楽5部

チャイコフスキー：交響曲第6番《悲愴》口短調 op.74

《悲愴》交響曲(1893年)はピョートル・チャイコフスキー(1840-1893)の最後の大作だ。作曲家の生涯にピリオドを打ったのは疫病だったので、本人はこれを末期の歌とするつもりはなかったはずだが、結果として《悲愴》は、晩年様式の点においても、特別な意味を持つことになる。

とりわけ注目になるのは、遠隔な調を対比させて音楽的な情緒を描き分ける書法だ。たとえば交響的バラッド《地方長官》(1891年)。長官の登場と死にはイ短調(調号なし)を、その間に挟まる中間部の愛の場面には変ホ長調(♭3つ)をあてる。バレエ音楽《くるみ割り人形》(1892年)では、幕開けと掉尾(現実世界)には変ロ長調(♭2つ)を、第1幕の終わりと第2幕の初め(メルヘンの国)にはホ長調(♯4つ)を配する。

晩年期に好んで用いたこうした手練を、チャイコフスキーは《悲愴》では使って「いない」。ここが重要なところである。この交響曲の楽章間には楽想上、はっきりとしたコントラストがある。それにもかかわらず各楽章の調はすべて、♯1つから2つの“親戚”でまとめられている。晩年様式に鑑みれば、《悲愴》の各楽章はその表面上の対照性にもかかわらず、実際は同一の背景のもとにストーリーを語る、または同一のキャラクターを登場人物として描く音楽絵巻ということになる。

こうしたスタイル上の特徴は創作史とも付合する。1892年から93年にかけての欧州楽旅のさなか、作曲家は「標題交響曲」の構想を胸にいだく。92年のメモには「計画中の交響曲の真髄は『人生』だ」との文言が残る。それに続けて各楽章の性格を「情熱」「愛」「失望」「死」として書き表し、対置する。最終的には多少の修正を伴うも、この構想の大筋は93年の作品初演まで生き続けた(そして今も生きる)。

【第1楽章】 低音による序奏。ホからロまでの完全4度を半音階的に下行するバス音型は、伝統的に深い悲しみを表現する音楽修辭だ。主部はソナタ形式。長い提示部に対して、短い展開部と再現部、とりわけ再現部のクライマックスからせき立てるように楽章を終えるさまは、ポリフォニー音楽のストレッタ(急迫部)を思わせる。

【第2楽章】 クラシック音楽史上、最も有名な5拍子の曲。その書き振りはきわめて滑らかなので、拍子はぎくしゃくするはずだが、ステップは軽やかになる。青春のアンビバレント。

【第3楽章】 きらめく行進曲。人生の朱夏を思わせる。

【第4楽章】 白秋の道行きだが、その勢いはさらに弱まり、玄冬の奥底にまで落ちていく。低音域へと引きこもる様子が、冒頭楽章と呼応する。

作曲：1893年

初演：1893年10月16日、サンクトペテルブルク

楽器編成：フルート3(ピッコロ持替1)、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、チューバ1、ティンパニ、大太鼓、シンバル、銅鑼、弦楽5部

Member's TVU CHANNEL
CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック

<https://members.tvuch.com>

メンバーズ TVU チャンネルは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。日本フィルの配信は1コンテンツにつき 1,000円です。

ご購入後、3ヶ月間の視聴期間内であれば何度でもご視聴いただけます。特に記載のない場合、販売期間は6ヶ月、購入後3ヶ月視聴可能です。公演によって、全曲配信できない場合もございますので、サイト上で配信内容をご確認の上ご購入ください。

まずはID登録! メールアドレスとパスワードのみで簡単!

第413回 名曲コンサート 2026年5月17日(日)

指揮：藤岡 幸夫

シベリウス：交響詩《フィンランディア》 チャイコフスキー：交響曲第5番

ベルリオーズ：幻想交響曲

第782回 東京定期演奏会 2026年7月10日(土)

指揮：フランソワ・ルルー

プロコフィエフ：交響曲第5番

第783回 東京定期演奏会 2026年9月11日(金)

指揮：カーチュン・ウォン

ショスタコーヴィチ：交響曲第7番《レニングラード》

第420回 横浜定期演奏会 2026年9月19日(土)

指揮：オッコ・カム ピアノ：河村尚子

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番

ストラヴィンスキー：バレエ音楽《春の祭典》

10/19
まで販売

第157回 さいたま定期演奏会 2026年9月26日(土)

指揮：小林研一郎[桂冠名誉指揮者] ヴァイオリン：周防亮介

ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番

ベルリオーズ：幻想交響曲

第784回 東京定期演奏会 2026年10月16日(金)

指揮：山田和樹

間宮芳生：二重合奏協奏曲

チャイコフスキー：交響曲第6番《悲愴》

NEXT CONCERTS

>> 次回東京定期演奏会

第785回東京定期演奏会

2026年 11月13日(金) 19:00開演
11月14日(土) 14:00開演
サントリーホール

プレトーク 萩谷 由喜子氏

金曜日/18:30～
土曜日/13:20～

■1回券料金

S ¥10,000 A ¥8,500 B ¥7,500 C 完売 P ¥5,000 Ys (25歳以下) ¥2,500

※障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

助成:



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

小林研一郎が描く 《我が祖国》の風景 ——魂を揺さぶる音楽の旅

スメタナ:
連作交響詩《我が祖国》



©山本 倫子

指揮:小林研一郎[桂冠名誉指揮者]

次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー!

小林 研一郎編

きき手 伊熊 よし子

[スメタナが全人生を懸けて書いた息を呑むような《我が祖国》は、神さまからの光のような存在だと思っています]

マエストロ小林研一郎にとってスメタナの《我が祖国》は、生涯忘れえぬ強烈な思い出の作品として脳裏に深く刻み込まれている。今回70周年を迎える日本フィルとともにこの名曲(全6曲)を演奏し、聴衆をチェコの激動の歴史とともにその美しい景観の地へとといざない、「コバケン」の《我が祖国》を表現する。

コバケンさんは2002年5月12日、「プラハの春音楽祭」のオープニングコンサートで東洋人として初めてチェコ・フィルハーモニー管弦楽団を指揮して《我が祖国》を全

曲演奏するという栄誉に浴した。チェコ人以外の指揮者がチェコ・フィルと《我が祖国》を演奏・録音するのは非常に稀で、伝統あるオーケストラと見事に融合し、新たな視点をも加え、演奏は大成功を博した。しかし、最初からチェコ・フィルと意気投合したわけではなく、紆余曲折の末、名ライブが誕生したのである。

「僕にとってスメタナはロマン派の偉大な作曲家ですので、その思いで指揮したい。でも、チェコ・フィルにとってこの作品はバイブルのような存在。2曲目の《ヴァルタヴァ(モルダウ)》には戦争による赤い血が流れているといい、単にきれいな音では演奏できないという。僕がうれしそうに、美しい音で演奏するのは間違っているのではないかといわれた。そうした解釈の違いがあり、僕はリハの途中でホテルに帰っちゃったんです。すると僕の気持ちが少し落ち着いて怒りが冷めたころ、夜中にチェコ・フィルの10人がやってきて謝罪したいという。それで翌日から思いを分かち合いながらいい音楽を作ろうと精一杯努力し、本番に臨んだのです」

第1曲「ヴィシェフラド」は「高い城」を意味し、スメタナの墓地がある場所である。

「このときにはお墓に詣でて、自分なりの解釈ですが最高の演奏をしますと誓いました。冒頭の2台のハープが高い城から射してくる光を表し、とても印象的に始まります。ここから源流となって流れていくヴァルタヴァ川を表す第2曲が続きます。これは単独でもよく演奏される、非常に美しい心に響く旋律を備えた作品です。最初にチェコ・フィルの本拠地であるヴァルタヴァ川のほとりにあるルドルフィナム(芸術家の家)のドヴォルザーク・ホールでオーケストラの響きを聴いたときは、「虹のような音」だと思って感極まりました。ホールがオーケストラを育てるといいますが、まさにルドルフィナムが、チェコ・フィルの心のなかに直接入ってくる直截的な響きを育てたのだと思いました。それを最大限生かしながら、《シャルカ》は男女の闘いのはげしさを、《ボヘミアの森と草原から》はうっそうとした森と広大な草原が想像できるように、そして《ターバル》と《ブラニーク》はフス教徒の戦いと農民の踊りや祈りの情景、歓びの歌などさまざまなものが混在しているため、それらを描き出せるように各楽器の特質を生かしながらいねいに演奏していきます。僕がいつも感じていることですが、舞踊のリズムが出てきたときは、オーケストラも心身を揺らす思いで演奏してほしいのです。実は、クライマックスに大太鼓をプラスしたりフィナーレのコーダを多少変えたりしています。スメタナが全人生を懸けて書いた息を呑むようなこの作品は、神さまからの光のような存在だと思っているため、連作の最後を飾るフィナーレは印象に残る分厚い響きにしたいわけです。最後の30秒ですね。今回も日本フィルとそうように演奏したいと思います」

コバケンさんのスメタナに対する思いは深く熱い。その後チェコ・フィルとは数えきれないほど共演を重ね、いまでは同志のよう。彼の「我が祖国」は聴き手をプラハの地へとといざない、スメタナの魂を代弁する。その熱き思いを全身で受け取り、かの地へと飛翔したい。

第421回横浜定期演奏会

421st Yokohama Subscription Concert

2026年10月31日(土) 15:00開演

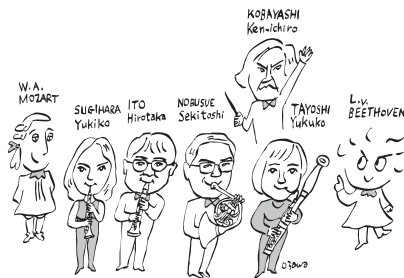
横浜みなとみらいホール

3:00p.m., Saturday, 31st October, 2026,
at Yokohama Minato Mirai Hall

オーケストラガイド 14:20~

小宮 正安 氏

ヨーロッパ文化史・ドイツ文学研究家、横浜国立大学(大学院都市イノベーション学府・都市科学部)教授。テレビやラジオへの出演や監修、ナビゲーターなど、幅広い分野で活躍している。



モーツァルト ディヴェルティメント ニ長調 K.136(約13分)

Wolfgang Amadeus MOZART

Divertimento in D-major, K.136

- I Allegro
- II Andante
- III Presto

モーツァルト 協奏交響曲 変ホ長調
(オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴットののための) K.297b(約30分)

Wolfgang Amadeus MOZART

Sinfonia Concertante K.297b

- I Allegro
- II Adagio
- III Andantino con variazioni

休憩(20分) Intermission

ベートーヴェン 交響曲第7番 イ長調 op.92(約45分)

Ludwig van BEETHOVEN

Symphony No.7 in A-major, op.92

- I Poco sostenuto - Vivace
- II Allegretto
- III Presto
- IV Allegro con brio

指揮

小林 研一郎[桂冠名誉指揮者]

Conductor

KOBAYASHI Ken-ichiro, Honorary Conductor Laureate

オーボエ

杉原 由希子[首席奏者]

Oboe

SUGIHARA Yukiko, Principal Player

クラリネット

伊藤 寛隆[首席奏者]

Clarinet

ITO Hirofuka, Principal Player

ホルン

信末 碩才[首席奏者]

Horn

NOBUSUE Sekitoshi, Principal Player

ファゴット

田吉 佑久子[首席奏者]

Fagotto

TAYOSHI Yukuko, Principal Player

コンサートマスター

田野倉 雅秋[日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster

TANOKURA Masaaki, JPO Solo Concertmaster

*この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者まで申し出ください。

主催 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 助成 /

表紙イラスト / 小澤 一雄

後援 / tvk(テレビ神奈川)

協力 / 横浜みなとみらいホール

文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

Conductor

指揮

小林 研一郎
[桂冠名誉指揮者]

KOBAYASHI Ken-ichiro, Honorary Conductor Laureate



©山本倫子

東京藝術大学作曲科及び指揮科を卒業。第1回ブダペスト国際指揮者コンクールでの鮮烈な優勝を飾ったことを皮切りに世界的に活動の場を拡げ、現在も第一線で活躍を続けている。音楽に対する真摯な姿勢と情熱的な指揮ぶりは「炎のコバケン」の愛称で親しまれ、名実共に日本を代表する指揮者である。

これまでに海外ではハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、ネーデルランド・フィルハーモニー管弦楽団(25年間、常任客演指揮者を務める)、アーネム・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・コンサートヘバウ管弦楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管弦楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、ハンガリー放送交響楽団等、国内ではNHK交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団等、名立たるオーケストラと共演を重ね、数多くのポジションを歴任。

2002年プラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング「我が祖国」を指揮して万雷の拍手を浴びた。この長年にわたる文化を通じた国際交流や社会貢献によって、ハンガリー政府よりハンガリー国大十字功勞勲章(同国で最高位)等、国内では旭日中綬章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞等を受賞。

作曲家としても数多くの作品を書き、1999年に日本・オランダ交流400年記念の委嘱作品、管弦楽曲『パッサカリア』を作曲、ネーデルランド・フィルハーモニー管弦楽団によって初演されると、聴衆から熱狂的な喝采を以て迎えられた。同作品はそれ以降もアシュケナージ指揮 NHK交響楽団、小林研一郎指揮日本フィルハーモニー交響楽団等で再演されている。2005年、社会貢献を目的としたオーケストラ「コバケンとその仲間たちオーケストラ」を設立、以来全国にて活動をしている。

CD、DVDはオクタヴィア・レコードより多数リリース。著書に『指揮者のひとりごと』(日本図書協会選定図書)等がある。

現在、日本フィルハーモニー交響楽団桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団・名古屋フィルハーモニー交響楽団・群馬交響楽団桂冠指揮者、読売日本交響楽団特別客演指揮者、九州交響楽団名誉客演指揮者、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授等を務める。

公式ホームページ <https://maestro-kobaken.com>



©井村重人

Oboe
オーボエ

杉原 由希子

【首席奏者】

SUGIHARA Yukiko,
Principal Player

愛知県立芸術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。同大学卒業演奏会、YAMAHAMA新人演奏会に出演。第6回高校生国際芸術コンクール'99第3位。2007年第76回日本音楽コンクール入選。2016年アフィニス文化財団の海外研修員として、ドイツのマンハイム音楽大学へ留学。

これまでに、オーボエを和久井仁、古部賢一、浦丈彦、小畑義昭、エマニユエル・アビュールの各氏に師事。木管五重奏団アミューズ・クインテットメンバー。

【メッセージ】

今回ソリストを務めるモーツァルトの《協奏交響曲》は、オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴットという4つの楽器が、それぞれの音色を生かしながら一緒に音楽を作っていく、とても楽しい作品です。4人の掛け合いやオーケストラとの響きを、会場でぜひ楽しんでいただけたらと思います。皆さまにお会いできるのを楽しみにしています！



©井村重人

Clarinet
クラリネット

伊藤 寛隆

【首席奏者】

ITO Hiroataka,
Principal Player

1968年鎌倉生まれの鎌倉育ち。1990年洗足学園大学音楽学部を優秀賞を受け卒業。1994年日本フィルハーモニー交響楽団に入団、翌年から首席奏者。第4回日本クラリネットコンクール第2位（1位なし）などを受賞。明治安田生命クオリティオブライフ文化財団奨学生。2009年外山雄三氏にクラリネット五重奏曲を委嘱し世界初演。

国立音楽大学大学院客員教授。洗足学園音楽大学大学院客員教授。ピュッフェクラボン専属講師。ダダリオアーティスト。一般社団法人日本クラリネット協会理事。

【メッセージ】

管楽器のための協奏交響曲、演奏される機会あまり多くないですね。でも、快活で希望にあふれる1楽章（4人でのカデンツァあり）、とにかく美しく透明感あふれる2楽章、そして3楽章のロンドはたくさんの変奏で構成されていて4人の妙技満載！モーツァルトとしてはなかなかしっかりした内容なのでお腹いっぱいになっていただけたらと思います。偽作といわれていますが、どうしてもよくらいとってみたい曲です。そして躍動あふれるベートーヴェン7番もみなさん楽しんでください！



©井村重人

Horn
ホルン

信末 碩才

【首席奏者】

NOBUSUE Sekitoshi,
Principal Player

栃木県小山市出身。東京藝術大学を卒業。ホルンを飯笹浩二、日高剛の各氏に師事。第86回日本音楽コンクールホルン部門入選。第35回日本管打楽器コンクールホルン部門第3位。第73回ARDミュンヘン国際音楽コンクール木管五重奏部門にクインテット樹で出場し、セミファイナリスト及び新曲特別賞を受賞。

これまでに愛知室内オーケストラ、日本フィルハーモニー交響楽団とソリストとして共演。

【メッセージ】

日本フィルが誇る首席たちが彩るモーツァルト、必聴ではないでしょうか！本当に素晴らしい音楽家である木管首席の皆様にご混ざって頂き一緒にモーツァルトを演奏できることは、最高の幸せです。

素敵な響きを堪能して頂けるよう、僕も精一杯努めます。個人的にずっと演奏したかった曲なので、とてもとても楽しみです！



©井村重人

Fagotto
ファゴット

田吉 佑久子

【首席奏者】

TAYOSHI Yukuko,
Principal Player

京都市立芸術大学およびケルン音楽大学（ドイツ）卒業。宇治原明、光永武夫、岡崎耕治、Georg Kluetsch、Ole Kristian Dahlの各氏に師事。2003年津山ダブルリードコンクール第4位。大阪フィルハーモニー交響楽団、WDRケルン放送管弦楽団、ケルン市立歌劇場、バスコ国立オーケストラ（スペイン）などに客演。

ドイツ・エッセンフィルハーモニー契約団員を経て、2010年3月日本フィルハーモニー交響楽団入団。

【メッセージ】

モーツァルトのコンチェルトンテを吹かせてもらえることになった時、この4人で演奏できる、ということがなにより嬉しかったです。

このメンバーにぴったりなモーツァルトの曲というもあり、培ってきたチームワークとそれぞれの魅力を存分にお楽しみいただけたらと思います。

日本フィルの顔である素晴らしいメンバーと、今しか聴けない特別な演奏ができるのを楽しみにしています。

モーツァルト：ディヴェルティメント 二長調 K.136

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756-91)16歳の時の作品。この曲を作った当時(1772年)の彼は、故郷ザルツブルクの宮廷に音楽家として仕える身だった。だが「神童」として早い時期から頭角を現し、ヨーロッパ各地でもてはやされたこともあり、彼はそうした自らの境遇に徐々に不満を覚え始め、やがて25歳を迎えた年にウィーンでフリーの音楽家として活躍し始める…。

実のところこの曲がザルツブルクで作られた直前にも、モーツァルトは足掛けおよそ2年にわたってイタリアを旅していた。目的は、その早熟ぶりをイタリア中の有力者に披露するため。と同時に、文化の本場と伝統的に見なされてきたイタリアにおいて、この地の様々な芸術文化、特に音楽文化を吸収するという狙いもあった。

当作品も、イタリア旅行で得た彼の地の洗練された音楽、さらには太陽が燦々と輝くイタリアへの想いが、はち切れんばかりに漲っている。『ディヴェルティメント』とはイタリア語で「愉しみ」「気晴らし」という意味だが、文字通りの悦びしさが曲のそこかしこに溢れているのだ。しかもこの年、モーツァルトはこの曲を含む3曲のディヴェルティメントを書いており、当作品はその幕開けを飾るに相応しい音楽が満ちている。華やかさと生気を具えた第1楽章はその典型だ。

対照的にゆったりとしたテンポの第2楽章は、単なる優美さや典雅さを宿しているだけではない。1年の大半を厚い雲と雪に閉ざされたザルツブルクから眺めたイタリアへの郷愁も、その根底に聴きとれる。そして目くるめく速さで駆け抜ける第3楽章。モーツァルトの才気煥発ぶりが随所で現れた1曲である。

■ 楽器編成：弦楽5部

モーツァルト：協奏交響曲 変ホ長調(オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴットのための)K.297b

何しろ逸話の多い作品だ。そもそも1778年にパリで作曲された後、散逸してしまったと伝えられてきた。19世紀に入ってからその写譜が見つかったものの、今度はお定まりの真贋論争が起きた。まったくの贋物であるという説から、一部は本物である、あるいはオーケストラ・パートは完全に他人の手になるものだ、等々、未だに議論が交わされている。

それはともかく、モーツァルトが協奏交響曲を作曲したという事柄こそが重要なだろう。1777年から79年にかけて、彼はいわゆる「マンハイム・パリ旅行」をおこなう。ヨーロッパの名だたる宮廷に雇ってもらうための求職旅行だったが、結局のところどこにも職を得られず、旅行についてきた母親がパリで亡くなるなど、波乱万丈の旅だった。

このように、一般的にはモーツァルトの「黒歴史」のように見なされている旅だったものの、彼が当時「音楽都市」としてヨーロッパに名だたる声望を誇っていたマンハイムやパリに逗留し、各地に花開いた音楽から様々な影響を受けたことは見逃せない。当時最先端のジャンルとして注目を浴びていた協奏交響曲のアイデアを得たのも、その典型な例である。モーツァルトは、たしかに天才だった。ただしその天才ぶりは、新たな情報を貪欲に吸収し自らのものとしてゆくとところにも現れたのである。

「アレグロ(快活に)」と指定された第1楽章における4つの独奏楽器同士の掛け合い、さらにはそれらを受けるオーケストラとの掛け合いからして、このジャンルにかけけるモーツァルトの筆運びが牙え渡る。「アダージョ(安らかに)」という指定の第2楽章では、時折不安ものぞかせつつ、癒しと慰めに満ちた静謐な響きが満ちる。第3楽章は主題と10の変奏による協奏曲であり、フランス風の洒落な主題に続き、独奏楽器の名人芸とともに、オーケストラの色彩感を堪能できる。

■ 楽器編成：独奏オーボエ、独奏クラリネット、独奏ファゴット、独奏ホルン、オーボエ2、ホルン2、弦楽5部

ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調 op.92

1811年から12年にかけて作られ、1813年に初演された、ルートヴィヒ・ファン・ベートーヴェン(1770-1827)の代表的な1曲だ。

1812年といえば、ナポレオン率いるフランス軍がロシア戦線で敗北を喫し、その後の失脚へつながる事件が起きた年。ベートーヴェンはナポレオンに対し、フランス革命の体現者として一時は熱狂するものの、ヨーロッパ各地に戦火をもたらす侵略行為が明らかになるに連れ、徐々に距離を置き始めた。

『交響曲第7番』は、ナポレオン相手の戦闘で傷ついた兵士を援助するべく…さらに彼の度重なる敗北を祝うべく、ウィーンでおこなわれた慈善演奏会で初演された。となると、この曲に漲る爆発的な喜びもよく分かる。19世紀半ばに活躍し、ベートーヴェンを敬愛したワーグナーは、当作品を「舞踏の聖化」と呼んだほど。

たしかにワーグナーが指摘した通り、各楽章がダンス音楽のリズムに貫かれている。しかも、ベートーヴェンを…さらには一過性ではあったもののナポレオンを崇拜した、新興階級の市民たちが入れ込みそうなものばかりだ。

第1楽章は「タータタタ」というリズムが中心となっており、これはイギリスやアイルランドから伝わった民族舞踊「ジグ」に基づいたもの。第3楽章は荒ぶる庶民の踊りである急速な3拍子のスケルツォ、第4楽章は市民階級に人気を博したコントルダンス(元々は「カントリーダンス」)が基となっている。

しかも、これらの熱狂的で輝かしい楽章の最中に、悲痛さや厳粛さを混えた第2楽章が置かれているのが、ベートーヴェンのベートーヴェンたる所以である。何しろ「タータタ・ターター」というリズムは、伝統的舞踊の1つである「荘重なアルマンド」に欠かせないもの。しかもこのアルマンドは、故人を偲ぶ音楽作品としてバロック時代に流行した「トンボー」(フランス語で「墓碑銘」という意味)に採り入れられることも多かった。

激しく交差する光と影。そこには、ナポレオンをめぐる激動の時代が大きく影響している。

■ 楽器編成：フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ、弦楽5部

「協奏交響曲」とは何か?

「ともに競い合う」…。これが「コンチェルト」の語源と言われている。

だが、ここから話がややこしい。「コンチェルト」とイタリア語読みすると、日本語では「協奏曲」という意味、「コンサート」と英語読みすると、「演奏会」という意味になるからだ。前者が、「ともに競い合う」という語源を基にしているのは何となくわかる。だが「演奏会」となると?

これには諸説ある。例えば、「協奏曲」という意味合いのコンチェルトがイギリスに渡った時、「人々が協力して一つのイベントを行う」というニュアンスが強まり、そこから「演奏会」という意味になった。あるいは18世紀までは、クラシック音楽の世界においては「協奏曲」が演奏会の花型レパートリーだったことから、この呼び名がひろまったという説も。

ちなみに18世紀には、様々な形の協奏曲が人気を博した。時代的に見れば、まずは少人数の独奏者と大合奏が競い合う「合奏協奏曲(コンチェルト・グロッソ)」。ヴィヴァルディやバッハなど、18世紀前半に活躍した作曲家の協奏曲は、多くがこのスタイルで書かれている。それが徐々に、複数のソロではなく、1人の「優れた独奏者(ソリスト)」とオーケストラが競演する形へと変わっていった。

つまり、権力者に雇われた「音楽の出来る家来」だった音楽家が、自分たちの腕前を通じて権力者にPRする、あるいは権力者の威光を音楽で称えていた時代が徐々に変化を遂げていった。そして、権力者の支配下にあった市民階級が自立を遂げる中で、音楽家も自立を遂げて自身の腕前で勝負をする時代に入っていった。

そんな変化の時代に生まれた1つのジャンルが、複数の独奏者と管弦楽が共演する「協奏交響曲」である。一見、「合奏協奏曲」に逆戻りしたかのような編成だが、そうではない。協奏曲においては、超絶技巧が前面に押し出されるのが常だったところを、協奏交響曲では、心をかき立てるような音楽をまずは独奏楽器が提示し、それをオーケストラが補完するというスタイルが重視されているからである。

そんな最新のジャンルに、進取の気性に富むモーツァルトも飛びついた。そして、純然たる協奏曲とも交響曲とも異なる、「協奏曲風の交響曲」という独特の世界を創り出した。



18世紀後半の貴族の館における演奏会の想像図
カール・シュヴェニガー2世画、19世紀後半▶

NEXT CONCERT

>> 次回横浜定期演奏会

第422回横浜定期演奏会

2026年11月22日(日) 15:00開演

通常の開催曜日と異なります。ご注意ください。

横浜みなとみらいホール

オーケストラガイド 布施 砂丘彦氏

■1回券料金

S ¥9,500 A ¥8,000 B ¥7,000 C ¥6,000 P 完売 Ys (25歳以下) ¥2,500

※Ys席: 25歳以下の方が対象のお席です。S席以外から選べます。

※障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

助成:



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

ベートーヴェン:

ピアノ協奏曲第5番《皇帝》
変ホ長調 op.73

サン＝サーンス:

交響曲第3番《オルガン付き》
ハ短調 op.78



指揮: カーチュン・ウォン[首席指揮者]



ピアノ:
サー・スティーヴン・ハフ

サーの称号を持つ名ピアニストが、 カーチュン・ウォンと再び豪華「響」演

2025年5月の共演も記憶に新しいカーチュン・ウォン×サー・スティーヴン・ハフ×日本フィル。この三者による待望の再「響」演が実現!

前半は、華麗さと雄大さを兼ね備えたベートーヴェン「ピアノ協奏曲第5番《皇帝》」。ハフの知的で詩的な感性と、揺るぎない技術が作品に新たな命を吹き込み、オーケストラとの緊張感ある対話が生まれます。

後半のサン＝サーンス「交響曲第3番《オルガン付き》」は、フランス音楽の粋ともいえる大作。華やかなオーケストレーションに、荘厳なオルガンが加わることで、作品の壮麗さがいっそう際立ちます。日本フィルの豊かなアンサンブルとスケールの大きな響きが、圧倒的なクライマックスへと皆様を誘います。



1 7月10日、11日 東京定期演奏会

マエストロ・ルルーのタクトのもとお届けしたのは、ソリストに諏訪内晶子さんをお迎えしたベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲と、プロコフィエフの交響曲第5番。終演後にマエストロと記念写真をばちり



3 8月6日 東北の夢プロジェクト2026 楽しいオーケストラin岩手

盛岡公演では山岸小学校合唱クラブの皆さんの美しい歌声と、なもみ太鼓の会の皆さんの力強い演奏に胸をうたれました。最後は全員で勇気100%!



5 8月11日 東北の夢プロジェクト2026 楽しいオーケストラin福島

5回目となる楽しいオーケストラin福島は、南相馬・いわき絆シンフォニック・バンド、福島県合唱連盟いわき支部中学校特設合唱団の皆さんと一緒しました。この夏をともに駆け抜けた園田マエストロ、江原陽子さん、スターダンサーズ・バレエ団の男性ダンサーの皆様と記念撮影!



2 7月18日～8月3日 夏休みコンサート2026

広上淳一、園田隆一郎の両マエストロをお迎えして、江原陽子さんとスターダンサーズ・バレエ団の皆様と一緒に全17公演お届けしました今年も皆さんの大きな歌声に元気をもらいました。また来年!



4 8月9日 フェスタサマーミュージザ KAWASAKI 2026

初共演のマエストロ・コンツ、ソリストは周防亮介さんでした。ブラームスのヴァイオリン協奏曲では周防さんの熱演に鳴り止まぬ拍手が送られ、後半の交響曲第1番も会場全体が音楽に聴き入る濃密な時間となりました



6 8月21日 第50回を記念するピティナピアノ コンペティション特級ファイナル

多くのピアニストを輩出している伝統あるコンクールの記念すべき50回に出演しました。太田弦マエストロの指揮で4人の素晴らしいファイナリストの皆さんと、ピアノコンチェルトの名曲と一緒に上げられた、素敵なステージでした。今後のご活躍を期待しています!



杉並区とともに育む、音楽のある日常

音楽を通じた区民の豊かな交流と地域文化の振興を目指し、杉並区と日本フィルは1994年7月5日に友好提携を結び、2024年に30周年を迎えました。

友好提携の枠組みの中で、日本フィルは区内の学校や保育園、地域区民センター、高齢者施設など、さまざまな場所へ音楽を届けています。コンサートホールだけでなく、暮らしの身近な場所に音楽との出会いをつくることも、長年の連携から生まれてきた大切な活動です。

ここでは、杉並区と日本フィルがともに取り組んでいる活動の一部をご紹介します。

学校で出会うー出張音楽教室

杉並区立の小・中学校へ室内楽で伺い、演奏を届けています。演奏を聴くだけでなく、楽員とのやりとりを交えながら、子どもたちが音楽の楽しさを一緒に体験できるプログラムを行っています。

[子どもたちの声]

- ・演奏やお話を聞いて、改めて音楽は人の気持ちを動かすことができると実感しました。音楽の授業の時には、より歌に気持ちを込めて歌いたいと思いました。
- ・初めて生の演奏を聴きました。聞いたことがある曲でも実際に目の前で聴くと迫力があり、心に残りました。楽器への興味が出ました。

まちの中で出会うー出張コンサート

保育園や地域区民センター、高齢者施設などへ出向き、身近な場所で楽しめるコンサートを開催しています。

日常の途中で出会うー区役所ロビーコンサート

平日のランチタイムには、杉並区役所のロビーがコンサート会場に。日本フィルのメンバーによる室内楽を、気軽に楽しんでいただける機会となっています。

詳細は杉並区ホームページをご覧ください。



今後の日本フィル出演公演

2026年10月～11月

2026	公演／会場／日時	出演者／曲目	チケット／お問い合わせ
10月	第414回名曲コンサート サントリーホール 24[土]14:00	指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者] ピアノ:務川 慧悟 打楽器:ベンジャミン・ウー* 笛子:リー・チンツン* 揚琴:マ・ファン* 胡琴:タン・マンマン* 琵琶:ワン・スーウェン* チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番 ムソルグスキー(カーチュン・ウォン編曲): 組曲《展覧会の絵》*	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	小林研一郎 500回記念コンサート サントリーホール 26[月]19:00	指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] チェロ:堤 剛* ナビゲーター:朝岡 聡 リムスキー＝コルサコフ: 交響組曲《シェエラザード》 チャイコフスキー: ロココ風の主題による変奏曲* ラヴェル:《ボレロ》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	第421回横浜定期演奏会 横浜みなとみらいホール 10月31[土]15:00	指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] オーボエ:杉原 由希子[首席奏者] クラリネット:伊藤 寛隆[首席奏者] ホルン:信末 碩才[首席奏者] ファゴット:田吉 佑久子[首席奏者] モーツァルト: ディヴェルティメント 二長調 K.136 モーツァルト: 協奏交響曲 変ホ長調 K.297b ベートーヴェン:交響曲第7番	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	第264回芸劇シリーズ 東京芸術劇場 11月1[日]14:00	モーツァルト: ディヴェルティメント 二長調 K.136 モーツァルト: 協奏交響曲 変ホ長調 K.297b ベートーヴェン:交響曲第7番	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
11月	日本フィル& サントリーホール にじくら ～トークと笑顔と、音楽と 第12回 サントリーホール 5[木]14:00	指揮:広上 淳一 [フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] ヴァイオリン:扇谷 泰朋 [ソロ・コンサートマスター] ヴィオラ:安達 真理[客演首席奏者] ナビゲーター:高橋 克典 モーツァルト: ヴァイオリンとヴィオラのための 協奏交響曲 変ホ長調 K.364より 第3楽章 ロッシニ:歌劇《ウィリアム・テル》序曲 ラヴェル:ボレロ 他	お問い合わせ: サントリーホール

2026	公演／会場／日時	出演者／曲目	チケット／お問い合わせ
	第158回 さいたま定期演奏会 ソニックシティ 7[土]14:00	指揮:広上 淳一 [フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] チェロ:宮田 大 ドヴォルジャーク:チェロ協奏曲 チャイコフスキー:交響曲第5番	日本フィルeチケット♪
	フレッシュ名曲コンサート 大田区民ホール・アブリコ 大ホール 8[日]14:00	指揮:藤岡 幸夫 コントラバス:水野 斗希 ベートーヴェン:エグモント序曲 ヴァンハル:コントラバス協奏曲 モーツァルト: 交響曲第41番《ジュピター》	お問い合わせ: (公財)大田区 文化振興協会
	第785回東京定期演奏会 サントリーホール 13[金]19:00 14[土]14:00	指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] スメタナ:連作交響詩《我が祖国》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	第415回名曲コンサート サントリーホール 21[土]14:00	指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者] ピアノ:サー・ステイーヴン・ハフ ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第5番《皇帝》 サン＝サーンス: 交響曲第3番《オルガン付き》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
11月	第422回横浜定期演奏会 横浜みなとみらいホール 22[日]15:00	指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者] ピアノ:サー・ステイーヴン・ハフ ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第5番《皇帝》 サン＝サーンス: 交響曲第3番《オルガン付き》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	落合陽一×日本フィル プロジェクトVol.10 《離見する音楽会》 横浜能楽堂 23[月・祝]14:00／17:00	演出:落合陽一 日本フィルハーモニー交響楽団メンバー ヴァイオリン: 田野倉雅秋[ソロ・コンサートマスター] 他	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	第84回杉並定期演奏会 杉並公会堂 26[木]15:00	指揮:松本 宗利音 ヴァイオリン:大江 馨 メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ブラームス:交響曲第1番	お問い合わせ: 杉並公会堂

日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911[平日10時-17時]
日本フィルeチケット♪ <https://eticket.japanphil.or.jp>
公演の詳細は日本フィル・ホームページでご確認ください。 japanphil.or.jp





咲かせよう、
まだない
キレイを。

utena



株式会社 ウ テ ナ

〒157-8567 東京都世田谷区南烏山1-10-22

お客様相談室 0120-305411 www.utena.co.jp

想像を、チカラに。



人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
in 鹿島

解体ってただ壊せばいいって
わけじゃないんです。

だから解体は TANAKEN



TANAKEN株式会社

〒105-7309

東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング9階

TEL:03-6264-5520 FAX:03-6264-6405

コーポレートサイト



ブランドサイト



ISO 9001:2015 認証取得
ISO 14001:2015 認証取得
ISO 45001:2018 認証取得

木を植え、
森を育てることも、
街づくりの
大切な一部なんですね。

三井不動産グループは北海道で
約5,000ヘクタールの森林を
保有、管理しています。
その大きさは東京ドーム約1,063個分。
この森が吸収するCO2は年間、
約21,315トンにもなるそうです。
人の手で1本1本苗木を
植え、下刈り、間伐などの
手入れをして健康な森に育てる。
そして、伐採適期を迎えた
木材や間伐材を、ららぽーとや
日本橋の街づくりに活用し、
「植えるー育てるー使う」のサイクルを
回し続けて、森を守っているんだって。
街づくりには森や緑を生かすことが
大切なんだな、と思いました。



三井のすずちゃん



◀ 三井のすずちゃんページはこちら

さあ、街から未来をかえよう

& 三井不動産グループ
MITSUI FUDOSAN GROUP

三井不動産グループ保有林 北海道 深川市湯内

ストーリーを変える、 ケミストリー。

新しいものは、化学反応から生まれる。
化学の力で、もっといい未来へ。

UBE Transform
Tomorrow
Today



最高級のアコースティックを誇る



杉並公会堂
Suginami Koukaidou



日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。



日本フィル杉並公会堂
シリーズ公演より



春休みオーケストラ探検より
楽器体験



公開リハーサル

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15
Tel: 03-3220-0401
<http://www.suginamikoukaidou.com/>
※運営会社：(株)京王設備サービス

日本フィルを支えてくださる皆様に、心より御礼申し上げます。

日本フィルは多くの方々の支えを基に、年間約140回のオーケストラ公演を中心に多彩な活動を行っております。質の高い演奏を継続してお届けするため、また、音楽を通して「豊かな社会」の実現の一翼を担う活動をいっそう推進するために、幅広い皆様のお力によって経済的基盤を強化することを願っております。

演奏によって皆様とつながり、皆様とともに豊かな社会を実現する担い手となり、芸術性と社会性を両輪とし、「温かさ」「人に寄り添う」土壌を大切にしながら、あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指しています。

私達は、日ごろの活動を通して、音楽とはネットワーク、コミュニケーションの力によって広がり、喜びがより深くなるのだと実感しております。日本フィルの楽団員一同は、音楽によって人と人とが繋がる喜びをもっとも理解する音楽集団として、人の心の温かさを、演奏に乗せて届けます。

日本フィルの活動を維持・発展させるためには、自助努力もちろん大切です。引き続き経営面での努力を重ねます。

しかしいっぽう、文化の事業には継続性が大切です。こんにちの日本において、安定した活動を継続するためには皆様からいただくご寄付、ご支援が欠かせません。日本フィルは今後、様々なコミュニティの皆様とともに多彩な活動を行っていきたいと考えております。

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうか温かいご支援をお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長 石塚 邦雄

■お振込みでのご寄付

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額
をメール donation@japanphil.or.jp まで
お知らせください。

【お振込先口座】

三菱UFJ銀行 高円寺支店(支店コード:155)
普通預金 0242402

公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

その他右ページもご覧ください。

■オンライン寄付

日本フィルの公式ホームページから
クレジットカードによりご寄付いただけます。
右の二次元コードから
ご寄付のサイトを
ご覧いただけます。

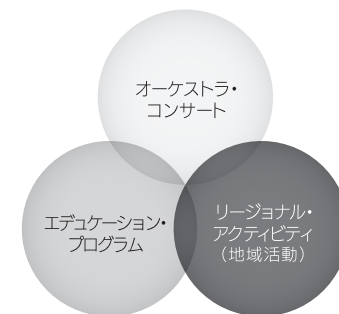


ご寄付をいただきました方には、
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

感動の共有 日本フィルハーモニー交響楽団

文化の発信

日本フィルは、
質の高い音楽をお届けする《オーケストラ・コンサート》
音楽との出会いを広げる《エデュケーション・プログラム》
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる
《リージョナル・アクティビティ》という
三つの柱で活動を行い、
音楽を通して文化を発信しています。



今月から下記の方々よりご支援をいただくことになりました。(敬称略)

特 別 会 員

富士ソフト株式会社 代表取締役社長執行役員兼CEO 室岡 光浩
株式会社プロHD 代表取締役 岡村 新也

日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。宛先は左のページをご覧ください。

パトロネージュ[個人寄付会員]

プログラム誌へのご芳名掲載などの特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。
年会費:3万円/5万円/12万円/20万円/50万円/100万円

日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様に日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、
主催公演チケット優先受付・優待(1割引)など様々な特典があります。
年会費:1万円

特別会員[法人寄付]

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。
寄付金額を損金に算入することができます。

遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。
お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

お問い合わせ:日本フィル事務所 TEL03-5378-6311(10-18時、土日祝日休)

アース製薬株式会社	
代表取締役社長 CEO	川端 克宜
アイング株式会社	代表取締役会長 飯嶋 庸夫
赤坂維新號	代表取締役会長 鄭 東静
あすか製薬株式会社	
代表取締役社長	山口 惣大
株式会社アトックス	
代表取締役社長	矢口 敏和
株式会社アドバンス都市開発	
代表取締役	古澤 孝
株式会社アダービジネスコンサルタント	
代表取締役社長	池田 昭司
イーソリューションズ株式会社	
代表取締役社長	佐々木経世
株式会社泉商会	代表取締役 八方 健介
株式会社泉放送制作	
代表取締役社長	日下部恵一
磯野不動産株式会社	
代表取締役社長	磯野 計一
稲畑産業株式会社	代表取締役社長 稲畑勝太郎
株式会社インフォーマート	
代表取締役社長	木村 慎
ウエルシア薬局株式会社	
代表取締役社長	田中 純一
株式会社内田洋行	代表取締役社長 大久保 昇
宇部エクシモ株式会社	
代表取締役社長	福永 謙二
株式会社AIT	代表取締役社長 大熊 克美
ABCシステム株式会社	
代表取締役社長	児玉 光宏
株式会社エイブル&パートナーズ	
代表取締役会長兼社長	佐藤 茂
株式会社エヌエフホールディングス	
代表取締役会長	高橋 常夫

NGB株式会社	代表取締役社長 宮崎 潔
株式会社エルイーテック	
代表取締役社長	坂田 洋一
エレコム株式会社	代表取締役会長 葉田 順治
株式会社大場造園	代表取締役社長 大場 二郎
岡三証券株式会社	
荻窪タウンセブン株式会社	
小川香料株式会社	代表取締役社長 小川 裕
株式会社ONODERA GROUP	
グループ代表CEO	小野寺裕司
公益財団法人オリックス宮内財団	
代表理事	宮内 義彦
鹿島建設株式会社	
代表取締役会長	押味 至一
鹿島建物総合管理株式会社	
代表取締役社長	小林 宏彰
鹿島道路株式会社	代表取締役社長 小土井満治
株式会社カナック企画	
代表取締役社長	金子高一郎
株式会社カナデン	代表取締役社長 守屋 太
株式会社 歌舞伎座	代表取締役社長 安孫子 正
株式会社ガモウ	
取締役執行役員会長	蒲生 茂
社会医療法人河北医療財団 理事長	河北 博文
川北電気工業株式会社	
代表取締役社長	大津 正己
北野建設株式会社	
代表取締役会長兼社長	北野 貴裕
キッコーマン株式会社	
代表取締役社長CEO	中野祥三郎
木下哲税理士事務所	代表社員 木下 哲
キャノン株式会社	
代表取締役会長 兼 社長 CEO	御手洗富士夫

キコーピー株式会社	
代表取締役 社長執行役員	高宮 満
共和建物管理株式会社	代表取締役 平 浩
キリンホールディングス株式会社	
代表取締役社長COO	南方 健志
株式会社きんでん	代表取締役社長 吉増 憲二
株式会社九曜社	代表取締役社長 望月 耕次
グローブシップ株式会社	
代表取締役社長	矢口 敏和
京王重機整備株式会社	
代表取締役社長	梁瀬 哲夫
株式会社京王設備サービス	
取締役社長	山木 正一
京王電鉄株式会社	
代表取締役社長社長執行役員	都村 智史
株式会社小泉	代表取締役社長 長坂 剛
株式会社興建社	代表取締役 水島 隆明
コーザイ株式会社	代表取締役 貝沼 信和
株式会社講談社	代表取締役社長 野間 省伸
株式会社コバヤシ	代表取締役 小林 達夫
コンパッソ税理士法人	代表社員 内川 清雄
佐藤製薬株式会社	代表取締役社長 佐藤 誠一
三機工業株式会社	特別顧問 梶浦 卓一
山九株式会社	代表取締役社長 中村 公大
サントリーホールディングス株式会社	
代表取締役社長	鳥井 信宏
三洋貿易株式会社	代表取締役社長 新谷 正伸
株式会社慈恵実業	代表取締役社長 石塚 雄三
株式会社シティライフプロパティーズ	
代表取締役会長	石橋 秀雄
株式会社じほう	代表取締役会長 武田正一郎
清水建設株式会社	代表取締役社長 新村 達也

株式会社集英社	代表取締役社長 林 秀明
株式会社シェルター	代表取締役会長 木村 一義
ショーバンドホールディングス株式会社	
代表取締役社長	岸本 達也
株式会社ジャックス	代表取締役社長 村上 亮
株式会社ジンテック	代表取締役社長 柳 秀樹
杉山商事株式会社	代表取締役会長 杉山 健
住友ベークライト株式会社	
代表取締役社長	鍛冶屋伸一
株式会社スプリックス	
代表取締役社長	常石 博之
全国保証株式会社	代表取締役社長 青木 裕一
第一倉庫株式会社	会長 小泉 駿一
株式会社泰秀	代表取締役社長 野口 通子
大正製薬株式会社	代表取締役社長 上原 茂
大日本除虫菊株式会社	
代表取締役社長	上山 史朗
大和製罐株式会社	代表取締役社長 山口 裕久
高砂熱学工業株式会社	
代表取締役社長COO 社長執行役員	小島 和人
TANAKEN株式会社	
代表取締役社長	中尾 安志
千歳コーポレーション株式会社	
取締役社長	眞田 茂春
千代田化工建設株式会社	
代表取締役社長	太田 光治
株式会社千代田テクノル	
代表取締役会長	細田 敏和
株式会社中央デパート	
代表取締役社長	木村 和貴
塚本總業株式会社	代表取締役社長 塚本 素清
ディアンドデパートメント株式会社	
代表	ナガオカケンメイ

学校法人帝京大学 理事長 冲永 佳史

株式会社T&Aマネジメント 代表取締役 長田忠千代

THK株式会社 代表取締役会長 寺町 彰博

株式会社電通 代表取締役 社長執行役員 松本 千里

東亜建設工業株式会社 代表取締役社長 早川 毅

株式会社東急コミュニティー 代表取締役社長 速川 智行

東京海上日動火災保険株式会社 取締役社長 城田 宏明

株式会社東京交通会館 代表取締役社長 細包 憲志

東京美装興業株式会社 代表取締役社長 八木 秀記

東洋熱工業株式会社 代表取締役社長 谷口 昌伸

戸田建設株式会社 代表取締役会長 今井 雅則

学校法人東京音楽大学 理事長 丸山恵一郎

株式会社永田音響設計 代表取締役社長 小口 恵司

株式会社ナミキ 代表取締役会長 並木 洋一

日鉄興和不動産株式会社 代表取締役社長 三輪 正浩

株式会社ニフコ 代表取締役社長 柴尾 雅春

日本精工株式会社 取締役 代表執行役社長・CEO 市井 明俊

日本製鉄株式会社 代表取締役社長 今井 正

日本電子株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 大井 泉

日本パーカライジング株式会社

株式会社ネイチャーズウェイ 代表取締役社長 萩原 吉晃

根本特殊化学株式会社 代表取締役社長 根本美恵子

ハウス食品グループ本社株式会社 代表取締役社長 浦上 博史

株式会社博報堂 代表取締役社長 名倉 健司

株式会社パッファロー 代表取締役社長 牧 寛之

ハナマルキ株式会社 代表取締役社長 花岡周一郎

阪和興業株式会社 代表取締役社長 中川 洋一

税理士法人ヒイラギ 代表社員税理士 黒田 榮治

東日本住宅株式会社 代表取締役 桃野 直樹

株式会社美禅 代表取締役 堀 哲昭

非破壊検査株式会社 代表取締役社長 山口多賀幸

ひびき・パース・アドバイザーズ 代表取締役社長 清水 雄也

株式会社ファミーコ 代表取締役 新庄真帆子

富国生命保険相互会社 代表取締役社長 渡部 毅彦

富士ソフト株式会社 代表取締役社長執行役員兼CEO 室岡 光浩

富士テレコム株式会社 代表取締役社長 土井 寛

株式会社プロHD 代表取締役 岡村 新也

一般財団法人藤本育英財団 理事長 藤本由紀子

古河産業株式会社 代表取締役社長 伊藤 啓真

株式会社フルヤ金属 代表取締役 古屋 堯民

株式会社Bridgepoint 代表取締役社長 佐藤 司

合同会社ベルファーマシー 代表社員 前島 景子

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス

ホッカンホールディングス株式会社 代表取締役社長 池田 孝資

株式会社ポニーキャニオン 代表取締役社長 大熊 一成

マネックスグループ株式会社 代表執行役社長CEO 清明 祐子

株式会社丸井グループ 代表取締役社長 青井 浩

株式会社丸の内よろず 取締役社長 加藤 昌彦

丸文株式会社 代表取締役社長兼最高経営責任者 堀越 裕史

丸美屋食品工業株式会社 代表取締役社長 阿部豊太郎

株式会社三井住友銀行 頭取CEO 福留 朗裕

三井住友信託銀行株式会社 名誉顧問 北村邦太郎

三井倉庫ホールディングス株式会社 代表取締役社長 古賀 博文

三菱HCキャピタル株式会社 代表取締役 社長執行役員 久井 大樹

三菱オートリース株式会社 代表取締役社長 高井 直哉

三菱ガス化学株式会社 代表取締役社長 伊佐早禎則

三菱総研DCS株式会社 代表取締役社長 亀田 浩樹

三菱地所株式会社 執行役社長 中島 篤

三菱重工業株式会社 取締役会長 泉澤 清次

三菱倉庫株式会社 代表取締役 社長 斉藤 秀親

株式会社三菱UFJ銀行 頭取 大澤 正和

三菱UFJ証券ホールディングス株式会社 取締役社長兼CEO 関 浩之

武蔵商事株式会社 取締役会長 宇田川紀通

明治安田生命保険相互会社 取締役代表執行役社長 永島 英器

メッドサポートシステムズ株式会社 代表取締役社長 谷川ひとみ

株式会社メディアグラフィックス 代表取締役社長 我妻まどか

森社会保険労務士事務所 所長 森 康之

株式会社ヤクルト本社 終身名誉会長 堀 澄也

山崎製パン株式会社

UBE株式会社 取締役会長 泉原 雅人

ユウキフーズシステム株式会社 代表取締役社長 田中 秀和

横河電機株式会社

米持建設株式会社 代表取締役 米持 大介

リガク・ホールディングス株式会社 代表取締役社長 川上 潤

リョーサン菱洋株式会社 代表取締役社長執行役員 稲葉 和彦

株式会社リンレイ 代表取締役社長 鈴木 信也

ローム株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 東 克己

匿名5名

パトローネージュご芳名

(50音順・敬称略)

2026年8月31日現在

青山やすし	東京都	岩田 達明	神奈川県	金子 修	埼玉県	島田 晴雄	東京都	津田 義久	東京都	蓮見 正純	東京都	村上 泰郎	東京都	渡辺 和子	東京都
秋元 和美	東京都	上田 泰邦	東京都	金子 清	千葉県	清水 幸雄	東京都	常石 博之	東京都	原 俊	千葉県	村上 泰大	神奈川県	渡邊規久雄	東京都
明田 重樹	東京都	上野悦子・陽子	東京都	金子 肇	千葉県	下河辺美知子	神奈川県	積田 孝一	東京都	原 幸男	静岡県	持田 泰	東京都	渡邊 裕志	山口県
浅野 純次	埼玉県	宇賀神裕子	静岡県	香山 和子	神奈川県	下田 英一	東京都	一般社団法人		針谷 博史	東京都	元永 徹司	神奈川県	Maru	
朝吹 英和	東京都	臼井 潤	東京都	川合 孝一	千葉県	生島 貴司	千葉県	東京フロイデ合唱団		日高 好男	東京都	森 稔樹	神奈川県	M.K.	
厚田 理郎	東京都	内村 恒彦	神奈川県	菊池 和美	東京都	晋友会合唱団	東京都		東京都	平井 邦子	神奈川県	森川 智之	神奈川県		匿名63名
阿部 俊彰	神奈川県	江口 麗子	東京都	喜多崋久江	東京都	菅 千太郎	東京都	東瀬 朗	新潟県	平田 邦夫	神奈川県	森田 大輔	神奈川県		
新井 康允	神奈川県	大久保 昇	神奈川県	北村 裕	神奈川県	杉本 功	東京都	時枝 直満	東京都	広瀬 晴子	神奈川県	森田ハルヨ	東京都		
荒木 秀隆	東京都	大竹 広明	神奈川県	木村 恵司	神奈川県	杉山 秀子	東京都	徳田 陽一	東京都	廣田 直人	東京都	矢口 敏和	千葉県		
荒蒔康一郎	東京都	太田 達男	千葉県	久野 哲男	千葉県	杉山 浩明	東京都	外山 雄三	東京都	深沢 茂実	神奈川県	矢倉 俊紀	東京都		
有江 純子	神奈川県	大塚 宣夫	東京都	倉谷 宏樹	東京都	鈴木 康之	福島県	中尾 誠利	神奈川県	深見 敏正	東京都	山上 典彦	東京都		
安西祐一郎	東京都	大坪 昌広	東京都	栗原真知子	埼玉県	鈴木 祐二	東京都	ナガカゲンメイ	東京都	福井 英次	東京都	山岸 陽子	東京都		
飯田 桂子	東京都	大森 京太	東京都	黒田 真二	神奈川県	住野 公一	東京都	中島 奈穂	東京都	福田 昭夫	東京都	山口 幸子	東京都		
飯田 百栄	東京都	岡田 尚子	埼玉県	畔柳 信雄	東京都	関 兼英	東京都	中嶋 尚信	千葉県	藤野 盾臣	東京都	山口 仁栄	東京都		
家近 茂	東京都	岡田 雅史	神奈川県	甲賀 一宏	埼玉県	妹尾 絲子	東京都	中島美知子	東京都	藤原 真也	東京都	山口 岳彦	栃木県		
家近 信子	東京都	荻窪祝祭管弦楽団		胡口 靖夫	東京都	仙石 通泰	東京都	長瀬 雅則	東京都	星 桂太郎	東京都	山口 達之	長崎県		
五十嵐重雄	東京都		東京都	小林 和夫	東京都	宗 神子	大分県	中園 和博	東京都	細谷 義徳	千葉県	山口みどり	東京都		
池浦 慧	東京都	尾澤 弘久	東京都	小林こずえ	東京都	染野 郁郎	東京都	中西 祥子	東京都	牧野 澄夫	東京都	山越 章弘	長野県		
池田 博	東京都	尾上 洋子	東京都	小林 政雄	長野県	空田 幸徳	東京都	永野 琢夫	東京都	増井 俊之	神奈川県	山田 敏之	神奈川県		
池野 隆光	東京都	小野寺けい子	岩手県	小林 裕美	東京都	高井 延幸	神奈川県	中村 公一	東京都	増田 文彦	神奈川県	山田 宏己	東京都		
池谷 光司	東京都	小野寺健一	岩手県	五味 康昌	神奈川県	高木 宏忠	東京都	中山 彩	東京都	町田 公志	東京都	山中 吹雪	埼玉県		
石澤 卓志	千葉県	小幡 尚孝	東京都	齋藤 武則	東京都	高須 幸雄	東京都	那須 雄治	東京都	松尾	東京都	山本 高稔	東京都		
石塚 邦雄	東京都	小原 道生	東京都	坂井 康柄	神奈川県	高田 信子	東京都	橿 年紀・綾	東京都	松田 譲	東京都	油井 直次	東京都		
石津 寿恵	東京都	折田 昌子	東京都	定形 哲	神奈川県	竹下 淑子	神奈川県	新倉 啓介	東京都	松村 美希	東京都	横川 直	東京都		
伊藤 貴博	東京都	風間 沙織	神奈川県	佐藤 武男	東京都	竹中富知男	東京都	西澤 豊	東京都	三木恵美子	神奈川県	吉江 健志	千葉県		
伊藤 昌司	東京都	賀澤 裕三	福島県	佐藤 寛之	東京都	田中 一嘉	東京都	西谷 公男	東京都	三木 繁光	東京都	吉川 美保	東京都		
伊藤 好彦	東京都	片山 英二	東京都	佐藤 正昭	東京都	田仲 博幸	東京都	西村 醇子	神奈川県	峯島 茂之	東京都	吉田 貴美	神奈川県		
井上 直人	東京都	片山 茂	千葉県	佐藤 正知	東京都	田辺三基男	東京都	二村 英之	東京都	宮川 和哉	神奈川県	吉田 公彦	神奈川県		
井上 浩良	東京都	桂 史子	東京都	座間 淑美	神奈川県	田村 浩章	東京都	布村 清美	東京都	宮地 直紀	東京都	吉田 知世	東京都		
井上 正敏	千葉県	加藤 壹康	静岡県	澤井 敏雄	東京都	塚本 和久	東京都	沼口 順子	東京都	宮本 裕二	兵庫県	吉村 真幸	埼玉県		
岩沙 弘道	東京都	加藤 丈夫	東京都	島田 和子	東京都	辻 雅夫	東京都	根本 直之	千葉県	村上 純子	埼玉県	吉村 匡則	東京都		
岩瀬 順子	神奈川県	加藤 頼宣	東京都	島田 精一	東京都	薦井 厚伸	東京都	箱崎 一彦	千葉県	村上 洋美	東京都	若林 昭子	東京都		

青木 孝	神谷 薫	住江 慶子	早川征一郎
青木 隆	萱場 基	隅田 真	深沢 茂実
赤星 弥生	岸田 正博	高津 正徳	藤井 行雄
荒井 隆志	北宮千恵子	武井 新	藤川 寿彦
有田 正治	木村 繁	武田 幸子	藤村 文二
石田 尚身	倉田 茂	田中 諄	古川 武志
石田 英雄	蔵貫 義朗	坪井 憲治	古瀬 明弘
伊藤 正明	斎木 典子	東保裕の介	本堂 毅
伊波 睦	坂本 博志	富澤 裕	増田 文彦
岩崎 貞明	相良 幸男	富田 節子	松井 務
海野 尚久	佐藤 安雄	永井 福枝	皆川 文弘
大塚 宏二	清水 浩憲	永田 康	三好 敦生
小田倉 正	下山 泰彦	中山 泰子	渡辺 勝次
柏崎 和枝	菅原 章文	野中 和行	渡辺 政則
鹿島 道	鈴木 重行	羽田 洋子	
加藤 明	鈴木 富美	羽生 賢次	

第九特別演奏会2026

Ⅰ 指揮: 阪 哲朗



©Takashi Imai

2026年
12/19(土) 15:00
横浜みなとみらいホール
(第423回横浜定期演奏会)

12/20(日) 14:00
サントリーホール

予定枚数
終了

オルガン: 勝山 雅世*
ソプラノ: 隠岐 彩夏
カウンターテナー: 藤木 大地
テノール: 小堀 勇介
バリトン: 池内 響
合唱: 東京音楽大学(12/19)、
日本フィルハーモニー協会合唱団
(12/20)

J.S. バッハ:
暁の星のいと美しきかな BWV739
羊は安らかに草を食み BWV208-9
トッカータとフーガ ニ短調 BWV565
(以上3曲オルガン独奏*)
ベートーヴェン交響曲第9番《合唱》

Ⅱ 指揮: 小林 研一郎[桂冠名誉指揮者]



©山本 倫子

2026年
12/23(水) 19:00
東京芸術劇場

12/26(土) 14:00
横浜みなとみらいホール

12/27(日) 14:00
サントリーホール

予定枚数
終了

12/28(月) 19:00
東京芸術劇場

オルガン: 石丸 由佳*
ソプラノ: 小川 葉奈
メゾソプラノ: 山下 牧子
テノール: 笛田 博昭(12/23-27)
錦織 健(12/28)
バリトン: 寺田 功治
合唱: 東京音楽大学(12/23)
武蔵野合唱団(12/27)、
日本フィルハーモニー協会合唱団
(12/26、28)

J.S. バッハ:
前奏曲 ハ長調 BWV531
小フーガ ト短調 BWV578
トッカータとフーガ ニ短調 BWV565
(以上3曲オルガン独奏*)
ベートーヴェン交響曲第9番《合唱》

S席 ¥10,000 A席 ¥9,000 B席 ¥7,500 C席 ¥6,000 P席 合唱団
Ys席(25歳以下) ¥4,000 Gs席(70歳以上) ¥6,000(12/19を除く)

【お申込み・お問い合わせ】日本フィルチケット♪[席を選んでお申込できます] <https://eticket.japanphil.or.jp>
日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911(平日10時~17時)

■ 新入団のお知らせ

2026年10月1日にヴィオラ・セクションに金田滉司が入団いたしました。今後の活躍にご期待ください。

■ もうすぐ発売

日本フィルハーモニー交響楽団 珠玉の室内楽in相模原	発売日:10月23日(金)
2027年1月31日(日) 14:00	相模女子大学グリーンホール 多目的ホール
ヴァイオリン:伊藤 太郎、田村 昭博 ヴィオラ:小中澤 基道、児仁井 かおり チェロ:石崎 美雨、篠原 和仁 ドヴォルジャーク:弦楽四重奏のための《糸杉》B.152より ドヴォルジャーク:弦楽四重奏曲第12番《アメリカ》 ブラームス:弦楽六重奏曲第1番	
一般 ¥3,500 学生(25歳以下) ¥2,000	



あの名曲の、あの作曲家の、あの楽器の・・・知っていれば演奏会が10倍楽しくなるお話。見れば演奏会に行ってみたくなる、さまざまなオーケストラの楽しみ方を2分に凝縮!!!

映画プロデューサーであり、日本フィルの評議員となりクラシックの沼にはまりつつある村上典史子の素朴な疑問に、クラシック音楽界、そして日本フィルを知り尽くす音楽評論家・奥田佳道がお答えします。親しみやすく、さまざまな切り口でクラシック音楽の扉を開きます。

- ①毎月10日・20日の19時 日本フィルのSNSで公開!
- ②ロングバージョン「2分でわかる大人のためのオーケストラ入門Plus+」をYoutube公開

定期会員券ご寄付のお願い

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

9月の東京・横浜定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。
(50首順・敬称略) 匿名13名

ご寄付の方法

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

※公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。 ※会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願い致します。 ※ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送致します。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願い致します。

日本フィル・サービスセンター 〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1
TEL:03-5378-5911(平日10時~17時) FAX:03-5378-6161(24時間) E-mail:order-ticket@japanphil.or.jp



©飯田 耕治

日本フィルハーモニー交響楽団

1956年6月創立。楽団創設の中心となった渡邊暁雄が初代常任指揮者を務める。

創立当初より幅広いレパートリーと斬新な演奏スタイルで、ドイツ・オーストリア系を中心としていた当時の楽壇に新風を吹き込み、大きなセンセーションを巻き起こした。創立期から始められた「日本フィル・シリーズ」は、日本の音楽史上でも例のない委嘱制度として三善晃、武満徹、細川俊夫ら多彩な邦人作曲家へ新作委嘱を行ってきた。シリーズは42作にまで至り、その中には今日「古典」として定着した作品も少なくない。

2023年9月よりカーチン・ウォンが首席指揮者を務め、その独創性と真摯さに裏付けられた音楽作りが注目されている。近年の高い演奏力と積極的なプログラミングは「21世紀の日本のオーケストラが目指すべき方向を明確に示す」と評価され、2023年度ミュージック・ペンクラブ音楽賞を受賞した。さらに桂冠名誉指揮者小林研一郎、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)広上淳一という指揮者陣を中心に東京・横浜・杉並・さいたま・相模原での定期演奏会をはじめ年間約140回のオーケストラ公演を行う。

1975年から続く夏休みコンサートは親子三代で楽しめるファミリーコンサートの草分け的存在。学校や介護施設等への訪問コンサートは年間約200回に及ぶ。音楽との出会いの場を広げる創造・体験型ワークショップは、日本のオーケストラにおける先駆的な活動として注目されている。

また、全国各地で地域と協働しながら音楽を通したコミュニティの活性化と、地域文化の発展を目指す長期的な活動も積極的に行っており、特に九州全県で行う九州公演は1975年よりその歴史を刻む。また、1994年に杉並区と友好提携を結び、杉並公会堂を本拠地とし、「杉並定期演奏会」や「60歳からの楽器教室」など地域に密着した活動を展開している。

さらに東日本大震災の直後、2011年4月より「被災地に音楽を」を開始。その数は360回を超える。これらが「若い世代への未来への希望を育んでいる」ことに対し、2022年に第16回後藤新平賞が授与された。

芸術性と社会性を両輪とし、「温かさ」「人に寄り添う」土壌を大切にしながら、あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指している。

楽団紹介 Orchestra Members

2026年10月1日現在

指揮者

Conductor

創立指揮者

桂冠名誉指揮者

名誉指揮者

名誉指揮者

客員首席指揮者

首席指揮者

桂冠指揮者 兼 芸術顧問

フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)

渡邊 暁雄 WATANABE Akeo

小林 研一郎 KOBAYASHI Ken-ichiro

ルカーチ・エルヴィン Lukács ERVIN

ジェームズ・ロツホラン James LOUGHRAN

ネーメ・ヤルヴィ Neeme JÄRVI

カーチュン・ウオン Kahchun WONG

アレクサンドル・ラザレフ Alexander LAZAREV

広上 淳一 HIROKAMI Junichi

コンサートマスター

Concertmaster



ソロ・コンサートマスター
扇谷 泰朋
OGITANI Yasutomo



ソロ・コンサートマスター
木野 雅之
KINO Masayuki



ソロ・コンサートマスター
田野倉 雅秋
TANOKURA Masaaki



アシスタント・コンサートマスター
千葉 清加
CHIBA Sayaka

第1ヴァイオリン

1st Violin



伊藤 太郎
ITO Taro



太田 麻衣
OTA Mai



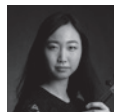
九鬼 明子
KUKI Akiko



齋藤 政和
SAITO Masakazu



榊 渚
SAKAKI Nagisa



竹歳 夏鈴
TAKETOSHI Karin



谷崎 大起
TANIZAKI Hiroki



田村 昭博
TAMURA Akihiro



中谷 郁子
NAKAYA Ikuko



西村 優子
NISHIMURA Yuko



平井 幸子
HIRAI Sachiko

第2ヴァイオリン

2nd Violin



遠藤 直子
ENDO Naoko



大貫 聖子
ONUKI Seiko



岡田 紗弓
OKADA Sayumi



神尾 あずさ
KAMIO Azusa



佐藤 駿一郎
SATO Shun-ichiro



末廣 紗弓
SUEHIRO Sayumi



豊田 早織
TOYODA Saori



町田 匡
MACHIDA Tadashi



松川 葉月
MATSUKAWA Hazuki



山田 千秋
YAMADA Chitose

ヴィオラ

Viola



客演首席奏者
安達 真理
ADACHI Mari



江藤 史織
ETO Shiori



小俣 由佳
OBATA Yuka



金田 滉司
KANADA Koji



小中澤 基道
KONAKAZAWA Motomichi



児仁井 かおり
KONII Kaori



高橋 智史
TAKAHASHI Satoshi



中川 裕美子
NAKAGAWA Yumiko



中溝 とも子
NAKAMIZO Tomoko



松澤 稚奈
MATSUZAWA Wakana

ソロ・チェロ

Solo Violoncello



門脇 大樹
KADOWAKI Hiroki



菊地 知也
KIKUCHI Tomoya

チェロ

Violoncello



石崎 美雨
ISHIZAKI Miu



伊堂寺 聡
IDOUJI Satoshi



江原 望
EHARA Nozomu



大澤 哲弥
OSAWA Tetsuya



久保 公人
KUBO Masato



篠原 和仁
SHINOHARA Kazuhito



山田 智樹
YAMADA Tomoki

コントラバス

Contrabass



鈴村 優介
SUZUMURA Yusuke



成澤 美紀
NARUSAWA Miki



宮坂 典幸
MIYASAKA Noriyuki



森田 麻友美
MORITA Mayumi



山口 雅之
YAMAGUCHI Masayuki

フルート

Flute



首席奏者
真鍋 恵子
MANABE Keiko



斎藤光晴
SAITO Mitsuharu



難波 薫
NAMBA Kaoru

写真 ©井村重人

オーボエ

Oboe



首席奏者
杉原 由希子
SUGIHARA Yukiko



副首席奏者
松岡 裕雅
MATSUOKA Hiromasa



佐竹 真登
SATAKE Masato

クラリネット

Clarinet



首席奏者
伊藤 寛隆(楽団長)
ITO Hiroataka



副首席奏者
楠木 慶
KUSUNOKI Kei



須東 裕基 □
SUDO Yuki



照沼 夢輝
TERUNUMA Yumeki

ファゴット

Bassoon



首席奏者
田吉 佑久子
TAYOSHI Yukuko



阿部 和輝 □
ABE Kazuki



鈴木 一志
SUZUKI Hitoshi



中川 日出鷹
NAKAGAWA Hidetaka

ホルン

Horn



客演首席奏者
丸山 勉
MARUYAMA Tsutomu



首席奏者
信末 碩才
NOBUSUE Sekitoshi



伊藤 舜
ITO Shun



原川 翔太郎
HARAKAWA Shotaro



村中 美菜
MURANAKA Mina

ソロ・トランペット

Solo Trumpet



オッタビアーノ・
クリストーフォリ
Ottaviano CRISTOFOLI

トランペット

Trumpet



首席奏者
大西 敏幸
ONISHI Toshiyuki



副首席奏者
犬飼 伸紀
INUKAI Nobuki



星野 究
HOSHINO Kiwamu

トロンボーン

Trombone



首席奏者
伊藤 雄太
ITO Yuta



副首席奏者
笠間 勇登
KASAMA Yuto



福島 莉那
FUKUSHIMA Hana

バス・トロンボーン

Bass Trombone



中根 幹太
NAKANE Mikita

ティンパニ

Timpani



首席奏者
エリック・パケラ
Eric PIEKARA



副首席奏者
池田 健太
IKEDA Kenta

パーカッション

Percussion



大河原 渉
OKAWARA Wataru



本間 雄也
HOMMA Yuya

□ 試用期間

楽団長
チーフステージマネージャー
ステージマネージャー
チーフインスペクター
インスペクター
ライブラリアン

伊藤 寛隆
阿部 紋子
長橋 健太/森田 大翔
佐藤 駿一郎
鈴村 優介/谷崎 大起
鬼頭 さやか/坂庭 史映/杉本 哲也

理事長(代表理事)
副理事長(代表理事)
専務理事(代表理事)
常務理事(代表理事)
理事(業務執行理事)
理事

石塚 邦雄
五味 康昌
福井 英次
後藤 朋俊
別府 一樹
田村 浩章/戸所 邦弘/福本 ともみ
佐々木 経世/葉田 順治
福澤 宏哉/細谷 義徳

監事
評議員会会長
評議員

加藤 丈夫
津田 義久/島田 精一/小林 研一郎
荒崎 康一郎/青井 浩/梶浦 卓一
河北 博文/山口 多賀幸/久保田 隆
木村 恵司/石村 等/大塚 直夫
村上 典史子/稲垣 尚/安孫子 正
西澤 豊/福満 一夫/中根 幹太
飯嶋 庸夫/北村 邦太郎/奥田 佳道
秘川 直也
平井 俊邦
熊谷 直彦/島田 晴雄

特別顧問
名誉顧問

テューバ

Tuba



柳生 和大
YAGYU Kazuhiro

ハープ

Harp



松井 久子
MATSUI Hisako

写真 ©井村重人

マネジメント・スタッフ

浅見 浩司/磯部 一史/江原 陽子
及川 ひろか/小川 紗智子/萩島 里帆
賀澤 美和/香取 春子/金田 雅子
小須田 萌/佐々木 文雄/澤田 智夫
篠崎 めぐみ/杉山 綾子/杉山 まどか
高橋 勇人/高橋 みゆき/田中 正彦
館谷 祐子/寺田 義己/中村 沙緒里
西田 大輔/西田 真菜/長谷川 珠子
樋高 雄太/藤田 千明/古館 順一
宗澤 晶子/山岸 淳子/和田 美希

チーフマーケティングオフィサー
シニア・パートナー

伊藤 治彦
新井 康允/永島 義郎/南部 洋一
吉江 信博

団友

青柳 哲夫/青山 均/新井 豊治
伊藤 恒男/伊波 睦/宇田 紀夫
遠藤 功/遠藤 剛史/大石 修
梶 美知子/柏熊 由紀子/加藤 祐一
蒲谷 隆行/川口 和宏/川口 貴
菊田 秋一/岸良 開城/吉川 利幸
木村 正伸/小山 清/斎藤 千穂
佐々木 裕司/佐藤 玲子/菅原 光
高木 裕子/高木 雄司/高木 洋
高倉 理実/高山 智仁/田沢 烈
立川 和男/堂阪 俊子/富樫 尚代
豊田 尚生/中川 二郎/中里 州宏
永田 健一/中務 幸彦/奈切 敏郎
橋本 洋/畑井 紀代子/平賀 法子
福島 喜裕/本田 純一/松本 克巳
松本 伸二/三本 克郎/宮武 良平
三好 明子/森 茂/山下 進三
山科 淑子/渡辺 哲雄

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 TEL.03-5378-6311

<https://japanphil.or.jp>

チケットお申し込み・お問い合わせ

[日本フィル・サービスセンター]

TEL.03-5378-5911(平日10時~17時)

※状況によっては営業時間が変更になる場合がございます。
予めご了承ください。

eチケット♪

<https://eticket.japanphil.or.jp/>

公式 X (旧Twitter)

@Japanphil

公式
アカウント公式
インスタグラム公式
Facebook

メールマガジン

日本フィル NEWS はこちらから登録！

日本フィル公式YouTube  / @JapanphilMovie

「2分でわかる！

／ 毎月10日・20日に／
お届け

大人のためのオーケストラ入門Plus+」

